



娯法、向き合い方などというメリットがあるを教え、身体・心・行い、セミナー・研修、動に関する項目シート、カウンセリングとセッション書き込み、セルフチャートで行えばより大きな効果を得られる。

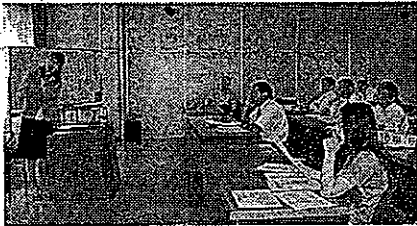
日本小型工作機械工業会（会長清水哲氏）は、会員企業の従業員や家族が健康に働き、生活できるよう、メンタルヘルスケア会社のEAP総研（社長川西由美子氏）が開発した「ストレスマネジメントeラーニング」を導入した。同工業会の会員専用ホームページから社内イントラネットですぐに学習できるツールで、6月から1年間利用できる。

「最近ストレスが溜まっているような気がする」「部下や同僚が元気がない。どう対処したらよいか分からない」などの悩みを的確に解決法をアドバイスしてくれる。さらに「家族の不安」

このシステムは、会員の従業員がストレスの正しい知識を得るだけでなく、家庭内コミュニケーションや育児についても専門知識をもとに学習できるのが大きな特徴。プログラムは、「ストレスの正しい基礎知識」（基礎知識編、実践編）でストレスへの効果的な対

小型工作機械工業会
メンタルヘルスケア促進
「eラーニング」導入

「eラーニング」では、家庭内のコミュニケーション、育児の不安など、5コースがあり、家族のメンタル疾患についても対処法を支援する。公園の機械振興会館でも。仕事の関係で研修に参加できない人も、自分のペースで学習が可能。EAP総研も従業員を集める（長）の解説に耳を傾け、コスト（宿泊費、交通）ながら熱心にメモを取る姿もみられた。



説明会のもくろみ

2007.7.5 商経機械新聞